

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長寿命住宅「千年家」

グループの名称

長寿命住宅「千年家」推進プロジェクト

直近採択グループ番号

06-0068-0578

(グループ代表者)

代表者名	藤原 哲也	代表者印
代表者所属先	エフ建築設計事務所	
代表者所在地	兵庫県姫路市西庄甲327-6	
代表者電話番号	079-295-8008	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社駒田製材所	
事務局担当者名	駒田 和哉	印
事務局郵便番号	670-0805	
事務局所在地	兵庫県姫路市西中島22-5	
事務局電話番号	079-224-1122	
事務局FAX	079-224-1100	
事務局担当者E-mail	precut@komadakigyou-g.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	長寿命住宅「千年家」
2. グループの名称(必須)	長寿命住宅「千年家」推進プロジェクト
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0068-0578
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県全域及びその周辺地域(播磨地域を中心とした地域を主とする)
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	藤原 哲也
7. グループ代表者の所属先(必須)	エフ建築設計事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	兵庫県姫路市西庄甲327-6
9. グループ代表者電話番号(必須)	079-295-8008
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社駒田製材所
11. グループ事務局担当者名(必須)	駒田 和哉
12. グループ事務局郵便番号(必須)	670-0805
13. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県姫路市西中島22-5
14. グループ事務局電話番号(必須)	079-224-1122
15. グループ事務局FAX番号(必須)	079-224-1100
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	precut@komadakigyou-g.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	9	合法木材認証制度の一部は、産地が外国である事業者の為、原木供給の登録を行っていない事業者がある。
II. 製材・集成材製造・合板製造	12	製材・集成材製造・合板製造事業者が海外事業者であった場合、流通構成員の出荷者による合法木材認証とします
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	製材事業者等から直接仕入れを行う場合など、一部流通グループを介さず、地域材の調達を行う場合がある。
IV. プレカット	3	一部、プレカット加工を行わずに手刻み等により、製材・集成材、合法グループから直接購入する場合がある。
V. 設計	4	建築主が設計士であったり、建築主の意向により設計グループ構成員によらない場合がある。
VI. 施工	20	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPG認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製品」の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県産材証明制度	1	国内	
	兵庫県産材	兵庫県	ひょうご県産木材認証制度	1	国内	
	岡山県産材	岡山県	おかやまの木で家づくり推進事業	1	国内	
広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		5棟				
					1500㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1棟				
					300㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)		補助対象戸数の配分は各住宅事業者に均等に1戸配分するものとします。ただし、採択戸数や、進捗状況を考慮しつつ長期優良住宅の実績の少ない工務店に出来る限り優先的に配分するものとします。							
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>長寿型住宅「千年家」</b>	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県全域及びその周辺地域(播磨地域を中心とした地域を主とする)
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>長寿型住宅「千年家」推進プロジェクト</b>	(結成年) <b>2014 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0068-0578</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【安心で長く住み続ける住環境の提供】 心で長持ちの基本として地盤調査を行い、施主に対して適切な報告をするものとします。 優良住宅では、耐震等級2以上、基礎高、点検口など維持管理、劣化対策を特に重視します。 耐久性向上と壁内等結露対策として外壁通気工法を採用し、開口部はLow-Eガラスを標準仕様とします。	・安 ・長期 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【快適な住環境として静かさの提供】 井、床、壁に音漏れの少ない遮音材・防音材などを一部には必ず施工を施すとともに、物の通気や日射も考慮した、静かな安らぎのある空間を確保するものとします。	・天 ・建 ◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	【快適な住環境として集いの場の提供】 ・人が集まるリビング、ダイニング、キッチンには自然素材を取り入れ、家族団楽できる 間取りや収納にも配慮した、人が集まる集いの場をもつ住宅プランの提供につとめます。	◎
④①～③の背景	本グループの対象地域は兵庫県西部の瀬戸内海に面し、夏は高温多湿、冬は山間部で雪が降り寒さ対策が欠かせない地域でもあります。 又、姫路は古くから近畿西部の玄関口として栄え、地域産業により豊かな文化を育み、市の中心には400年以上の歴史を持つ国宝白鷺城(姫路城)がそびえ木造建築物の古き良き伝統を今に伝えております。 そこで本グループでは良質なものを長く受け継ぎ育て、地元の、大工・工務店が匠の技で建築した家を点検・補修等を行うことにより経年劣化の少ない長持ちする家づくりをめざすものとします。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主が将来にわたり長く安心して住み続けるために、耐震・省エネ性など家の仕様が高だけでなく、快適な住居スペースとして、しずかにつらげ、家族が集い、楽しく暮らしていく事が出来る家を提案するものとします。 長持ちする家を作るため、土台には防蟻・防蟻処理処理を行い、加圧注入で薬剤を内部までしみこませた資材を推奨することで建物の劣化対策の向上に努めるものとします。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で共通仕様書を作り規格統一化を図るものとします。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 推奨建材をリスト化することでグループ内での使用建材の統一化を図るものとします。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長寿型住宅「千年家」の標準仕様書を作成し、グループ構成員が説明できる環境を整えます。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカー、グループの流通業者と協力し、建材・資材調達の共同化による安定供給の確立とコストダウンにつとめます。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工業者ごとに専任の担当者を配置し、メーカー、流通業者等連携を密にすることで手続きを円滑に行い事務の合理化につとめます。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ事務局が中心となりグループ全体から情報や意見を吸い上げ集約するとともに生産の合理化に向けた向上委員会の設置を検討します。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ供給事業者からの新商品情報や価格・在庫の情報などを施工業者にアナウンスするとともに、施工事業者の受注状況などを的確に把握し、供給業者と情報共有することで、事務局が円滑な流通の架け橋としての役割を担います。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地盤改良、瑕疵保険、長期優良住宅、低炭素住宅、BELSなど各基準を活用し、適切な施工をすることとします。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 上記、調査、審査、検査を適切に行い、その報告や説明を施主に対し適切に行った上で証明書等を手渡すものとします。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局による施工業者への価格表等の配布により、概算でなく明確な見積り作成を行うものとします。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局と設計・工務店が中心となり長寿型住宅「千年家」について内覧会やチラシ等の配布により消費者への普及活動に努めるものとします。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 週休2日制の導入を検討します。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループでの資材一括購入により仕入れを安く提供することで、利益を増やし賃金の向上を目指します。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険への加入を推進し未加入者ゼロを目指して行きます。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 年に一度の健康診断を提案して行きます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	安心できる住宅づくりは、正しい資金計画から、そこで提案のファイナンシャルプランナーによる資金相談、ローン相談を提案します。また、資金相談にもとづき、適宜すまい給付金をはじめ、その他の補助金や税制優遇の利用促進に向けた案内につとめるものとします。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長寿命住宅「千年家」	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県全域及びその周辺地域(播磨地域を中心とした地域を主とする)	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長寿命住宅「千年家」推進プロジェクト	(結成年) 2014 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0068-0578		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による履歴の管理を推奨し、「長寿命型」において必須とします。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅では長期対応の点検シート等を活用し、30年間の点検を適宜行うものとします。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検などにより、施主の必要に応じてメンテナンス・リフォームを行うものとします。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通点検シートを点検後に事務局へ提出するものとします。(任意)	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主だけでなく、施工業者向けに住まい管理についての勉強会や資料配布などの実施による住まい管理への取り組みを進めるものとします。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工業者ごとにイベントや内覧会でDIYの体験、相談会への取り組みを進めるものとします。(任意)	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材機器については、施工業者が中心となり建材展の内覧会・メーカー等シールームでの実演などによる取扱い等について説明に努めるものとします。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手と施工業者がともに履歴情報の蓄積・管理に努めるとともに、事務局が履歴管理の状況についての適宜、確認を行うものとします。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの長寿命化に向けてインスペクターによる定期的な住宅診断や現状検査チェックシートの活用によりリフォーム基準の確立を目指すものとします。 中立	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の倒産や廃業時にはグループで引き継ぎ、グループの施工業者が対応するものとします。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での勉強会で積極的に各自の経験を提供し合い、グループ全体の施工水準のUPを目指します。		◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		住まいの長寿命化に向けてインスペクション導入をグループとして取り組みます。	◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの勉強会に取り組むとともに、長期優良住宅の未経験工務店や地場の工務店についてはグループの設計業者等が技術基準のチェックや認定申請を行う。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計施工での各工程ごとに適宜、施工業者による施主への報告を行うものとします。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記、各工程ごとの検査報告について、証明書、適合書等による施主への報告、引き渡しの時に共有の確認シートを工務店より提出するものとします。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ基準を標準仕様とし、住宅の質を向上させることで受注の拡大を図ります。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化までに大工、町の工務店の施工技術の向上とともに、実績のある工務店のBELSの取得の標準化に向けた取り組みなどのレベルアップを目指します。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店による省エネ性能の向上に向けた取り組みに合わせ、設計グループの平成28年度省エネ基準への対応による省エネ住宅への対応を目指します。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 19 今年度の参加目標人数 12	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 22 今年度の参加目標人数 11		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー施工者講習会は施工グループには案内と参加の呼びかけ、省エネ性能への技術と知識の向上を目指します。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店による補助金案内やローン活用の促進として、勉強会やパンフレット等を活用し、施主へのサービスへの拡充に努めるものとします。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅・低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅の未経験工務店に対して、実績のある施工メンバーの仕様をモデルに申請手続きについて勉強中です。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		施工業者向けの様々な勉強会、説明会の開催情報について、グループ事務局が中心となり案内する事で、建築物省エネ法をはじめ、省エネ義務化に向けてゼロエネ住宅、性能向上計画認定住宅などの制度への対応の促進を進めます。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長寿命住宅「千年家」	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県全域及びその周辺地域(播磨地域を中心とした地域を主とする)												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長寿命住宅「千年家」推進プロジェクト	(結成年) 2014 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0068-0578													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	使用する地域材は「兵庫県産材認証制度」、「ひょうご県産木材認証制度」、「おかやまの木で家づくり推進事業」、「広島県産地証明制度」、「合法木材認証制度」のいずれかとし、主要構造材(土台、柱、梁、桁)の過半以上に地域材を使用するものとする。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>構成員であるプレカット工場に限定し、産地を明確にします。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となりグループ内への在庫状況の伝達につとめます。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の原木、製材、流通事業者より情報をまとめ、事務局から価格表をグループに定期的に発信します。												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本グループ内の原木、製材、流通事業者は需給状況を確認し、事務局よりグループに情報伝達を行います。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主の希望に沿う形で和の空間を提案します。												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主の希望、和風建築の場合積極的に提案します。												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主の希望により対応します。												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施主の希望により対応します。												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザイン を継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 姫路城をシンボルとした都市空間を創造し、新規の住宅地では、街並みに配慮した住環境整備を進めます。												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 温暖な瀬戸内の機構を最大限利用した自然の流れを意識した住宅づくりにグループで取り組みます。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計事業者等が地域の伝統文化を事前に把握し街並み景観への配慮につとめるものとします。												
	④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 姫路城を中心とした和の地域景観に配慮し、周囲に与える違和感等のない外壁の彩色に配慮した住宅づくりにグループで取り組みます。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	兵庫県産材を中心とした地域材の普及促進に向けてチラシ等でPRにつとめるものとします。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	被災地で製造、加工された商品を積極的に扱うものとします。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地で作られた木材等を積極的にグループ内で使用していきたいと思ひます。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 長寿命住宅「千年家」	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県全域及びその周辺地域(播磨地域を中心とした地域を主とする)
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 長寿命住宅「千年家」推進プロジェクト	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0068-0578	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>高度省エネ型の本グループとしての取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度4月から建築物省エネ法により住宅でもBELS認定による省エネ性能を数値としてアピールする事が出来るようになっており、高度省エネ型、優良建築物を問わず積極的な活用に努めるものとしております。</li> <li>・JKサポートセンターの認定低炭素住宅のマニュアルを活用しグループ内で共有しており、申請サポートによる地場工務店の利用促進を図っております。</li> </ul> <p>高度省エネ型(認営低炭素住宅)の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物省エネ法(平成28年度基準)に比べ、維持エネルギー消費量の削減を10%以上とします。</li> <li>※共通ルールについては、地域材ルールはCO2削減もあり木材は適応しますが、様式3-2住宅履歴の蓄積とメンテナンス基準、住まい管理の履歴管理、点検等については、任意規定とします。</li> </ul> <p>高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物省エネ法による認定申請基準を満たす住宅としており、一次エネルギー消費量の削減については10%以上としております。</li> <li>・昨年度始まった新しい制度の為、グループとしては今まで認定低炭素住宅としての補助金活用できない地域について積極的に活用できるように市街化地域から外れた地域の工務店への利用を案内していく予定となっており。</li> <li>※共通ルールについては、地域材ルールCO2削減もあり木材は適応しますが、様式3-2住宅履歴の蓄積とメンテナンス基準、住まい管理の履歴管理、点検等については、任意規定とします。</li> </ul> <p>高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅)の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本グループではZEHビルダー登録した工務店もあり、BELSに向けた取り組みと併せてゼロエネ住宅の促進をはかります。</li> <li>・今年度のモデルによる目標削減率を様式5-1のように設定しました。申請基準については、ZEH強化基準以上満たすものとしませんが、ランクアップ外皮平均熱還流率については今後、グループとして取組を進める予定となります。</li> <li>※共通ルールについては、地域材ルールはCO2削減もあり木材は適応しますが、様式3-2住宅履歴の蓄積とメンテナンス基準、住まい管理の履歴管理、点検等については、任意規定とします。</li> <li>優良建築物 ・低炭素建築物の認定基準に適合した住宅といたします。 ・主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半数以上になる地域材をするだけでなく、その他部材にも積極的に活用するものとしします。</li> <li>※住宅全般の規定の記載については原則として対象外といたします。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。